

自己分析課題お送りします。

このたびは、製図試験 com 自己分析課題にお申込いただきありがとうございます。（もしくはダウンロードしていただきありがとうございます。）課題解説自体はコースによりオンラインで行っています。自己分析課題については、添削・解答例送付のみとなります。課題分析の詳細やオンライン講義がご希望の方は、コースへの申込をご検討ください。

◇大まかなスケジュールは以下の通りです。

製図試験攻略スケジュール ver.17/12/01

項目\日程	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	備考	
	前半戦						後半戦					
	基礎知識力			問題対話力			h30問題対話力					
自己分析課題	○										問題文無料公開	
オンライン合格基礎講座	○			○			○				1/4/7月は同内容 (O/L)	
前半戦通信添削3課題				1	2	3					課題配布とオンライン添削あり	
シンクロ模試							○				6時間30分一式	
オープン課題							○				問題文無料公開	
後半戦通信添削4課題								1	2	3	4	課題配布とオンライン添削あり
シンクロ模試										○	6時間30分一式	
ガイダンス	○						○				何でもお答えします	
セミナー（東京・大阪O/L）		○	○	○	○	○		○	○	○	○	計10回程度を予定

◇この自己分析課題の隅々まで理解できれば、大抵の製図試験問題は解くことができます。

ですので、単にこの 1 課題をなんとなく解くのではなく、徹底的に様々な課題などとも比較しながら、思考を深めていきましょう。

◇エスキースを描き出すようにしてください。

エスキースは、ご自身でも 3 週間もすると意味のわからないようなエスキースではなく、第 3 者が観ても内容が追えるようなエスキースをまず描けるようにトライしてください。あなたの思考の「見える化」をするイメージです。

特に製図試験 com では「なぜそう計画するのか」「その寸法根拠はどこで決めたのか」あたりにはこだわりを持っていただきたいと考えています。

◇全ての基本は「ステップで攻略するエスキース」に記載してあります。

もちろん、本講座では応用も入れていきますが、全ての基本は同書に記載してあります。迷ったときはこのテキストをご覧ください。

◇さらにコース生となると BAND サポート・ZOOM オンライン学習が可能です

今年はメンバーズサポートを BAND で行っています。ネタバレになりそうな内容については、山口にトークすると「チャットルーム」が作ることも可能です。オンラインセミナー ZOOM のミーティング ID やスケジュールについては、BAND で連絡しています。将来製図試験 com のコンテンツにスマホやタブレットで参加する方は、アプリをダウンロードしておいてください。

◇同根物

用紙：薄紙（エスキース用・作図用）2 枚、自己分析課題一式（問題文、要点、チェックリスト）

課題提出は別社用紙でもかまいません。

製図試験.com 代表 山口 達也

この自己分析課題をご覧になり、
製図試験 com と共に一級建築士設計製図試験をめざしてみようという方へ

■h30製図試験.com学習アイテム一覧

ver.2018/1/18

NO	教材・コース	費用	コース生	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8前	8後	9前	9後	10月	1コース	2コース	3コース	4コース	備考
A000Y	自己分析課題+添削	9,800	含む													●	●	●	●	
A100Y-0	オンライン合格基礎講座	30,000	含む													●	●	●	●	
A201S-1	前半戦課題(3課題+模試)のみ	39,000															●		●	
A301S-1	前半戦課題+添削個人指導	93,000																●	●	
A202S-1	後半戦課題(4課題+模試)のみ	47,000															●		●	
A302S-1	後半戦課題+添削個人指導	119,000																●	●	
A401S	直接指導塾前半戦	153,000																	●	
A402S	直接指導塾後半戦	179,000																	●	
A400S	直接指導塾通期	324,000	324,000																●	
E0127	自己分析課題セミナー	3,000	3,000																●	
E0217	2月セミナー	15,000	12,000																●	
E0317	3月セミナー	15,000	12,000																●	
E0421	4月セミナー	15,000	12,000																●	
E0519	5月セミナー	15,000	12,000																●	
E0616	6月セミナー	15,000	12,000																●	
E0630	前半戦模試	15,000	含む																●	
E0811	夏期講習会	18,000	13,000																●	
E0922	9月講習会	15,000	15,000																●	
E0930	直前講習会	5,000	3,000																●	
BCDxxx	その他テキスト等学習教材	通年	通年																●	
■コースと教材の関係性																1コース	2コース	3コース	4コース	備考
□1.基礎知識習得コースは、自己分析課題+オンライン合格基礎講座です。																前半戦	39,800	39,800	39,800	
□2.教材支援コースは、1.基礎知識習得コース+前半戦3課題・模試+後半戦4課題・模試+テキストです。																	39,000	93,000	153,000	
□3.オンライン個人指導コースは、2にオンライン図面添削及び個人指導があるものでこれがメイン教材です。																後半戦	39,800	47,000	118,000	179,000
□4.直接指導塾BMSは、東京・大阪において直接セミナー10回分+全ての教材を含めたコースです。																通期	125,800	251,600	377,400	
□通期でお申込みいただけますと通期割があります。前半戦のあと、後半戦を加える場合は通期割を適用します。																通期割	108,000	224,000	324,000	

製図試験 com は、私たちがベストであるとは思っていません。代表の山口と合う合わないがあるからです。小さな組織なので色々行き届かない点があります。とにかく一生懸命ですが、様々なオンラインツールを導入しているので少し戸惑うかもしれません。その分、リーズナブルにはなっていると思います。ただ私としては、一級建築士に合格するには様々な選択肢がある方がベターだと考えています。製図試験 com で学ぶことがベターな方もおられますし、資格学校に通った方がベターな方もおられます。なので、じっくり考えて、また体験してもらって、その上であなたにとって最適な方法を選んでください。そのためいろいろな相談も受けています。学科試験対策も今年からその一環で始めることになりました。相談は、メールでも電話でもご来訪していただいても ZOOM でもかまいません。

<参考までに>

製図試験 com 合格マニュアル <http://seizushiken.com/DL30/goukaku01.pdf>

4つのコース解説 <http://seizushiken.com/project/n4course/>

学習アイテムお申込 <http://b-flag.net/s/>

<参考図書>

「地頭力を鍛える 問題解決に活かす「フェルミ推定」」 細谷功 <https://goo.gl/d79xSp>

では、あなたの合格を祈っています。まずは自己分析課題に挑戦してみてください。

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3階

製図試験.com 代表 山口 達也

guchi@seizushiken.com

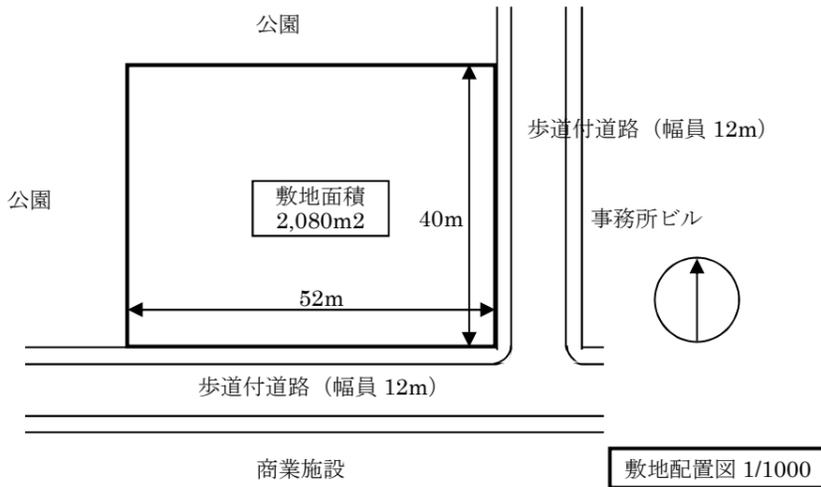
06-7181-3701

I. 設計条件

この課題は、平成 30 年度製図試験受験生の自己分析を行うために、ある地方都市において、地域住民に望まれているコンセプトルームのあるコミュニティセンターを計画するものである。敷地は公園の一角を予定しており、公園の景観や空間を活かした施設計画とすることに加えて、バリアフリー法の円滑化誘導基準に適合することが求められている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1 箇所当たり 6m までできるものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び防火地域にしてされている。また、建ぺい率の限度は 80% (特定行政庁が指定した角地における加算を含む)、容積率の限度は 300% である。
- 地質調査で支持地盤は平均 GL-2m、地下水位は平均 GL-3m となっている。
- 日影及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
地上 3 階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,800m² 以上、3,200m² 以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なおピロティ等の屋内的用途に供するものについては床面積に含むものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	1 階共用部から公園側にも出入口を設けるものとする。	室名	特記事項	床面積
学習交流部門	図書室	・閲覧スペース(開架式書庫、テーブル・イス、キャレル)ブラウジングコーナー、児童図書コーナーを設ける。 ・貸出カウンター、図書事務室を設ける。 ・ブックモービル車庫(奥行 7m × 幅 5m 程度)を設ける。 ・書庫をブックモービル車庫に隣接して設ける。 ・BDS を設ける。	計約 600m ²	
	調理実習室	・1mx3m 調理実習台を 4 台、飲食コーナー、準備室を設ける。	適宜	
	スタジオ 1/2	・防音設備を整えた音楽スタジオを 2 室設ける。 ・入口は前室を設け 2 重扉とする。	計約 60m ²	
	多目的室	・1 室で 90 名程度が集会に利用できるものとする。 ・天井高さを 5m 以上とする。	適宜	
	ホワイエ	・多目的室の客だまり利用できるようにする。	適宜	
	会議室 A/B/C/D	・異なる大きさの室を用意し、合計で約 240m ² となるよう A/B/C/D の 4 室設ける。	計約 240m ²	
飲食部門	展望レストラン	・公園を一望できる配置に配慮する。 ・テーブル、椅子、カウンターを設ける。 ・専用の展望デッキスペースに面する。	約 200m ²	
	厨房	・展望レストラン用とし、休憩室、専用便所を設ける。	適宜	
	カフェ	・テーブル、椅子、カウンターを設ける。 ・外部からも直接アクセスできるものとする。	約 100m ²	
共用部門 / 他	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・3 層吹抜け(100m ² 以上)とする。	適宜	
	事務管理室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・6 人程度の事務スペース及び応接コーナーを設ける。	適宜	
	一時託児室	・4 名程度(約 12m ²)一時預けることを可能とする。 ・室内に便所・キッチンスペースを設ける。	適宜	
	コンセプトルーム	・地域住民のニーズを想定し、それをコンセプトとする室を設ける。	50m ² 以上	
	設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。	適宜	

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

3. 屋外施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として 2 台分、管理・サービス用として 3 台分を設ける。その他は公園内にある駐車場を利用する。
- 駐輪場は、平面駐車とし、40 台分以上(2.0mx0.5m)を設ける。
- 展望レストランから出入りできる展望デッキスペース(70m² 以上)を設ける。
- 待ち合わせ等に利用できる待合広場(面積適宜)を設ける。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮し、主要な室については、自然採光、通風及び日射遮蔽に配慮し、かつユニバーサルデザインを取り入れた計画とする。
 - 各部門について適切にゾーニングした計画とするとともに、明快な動線計画とし、かつ避難等にも配慮する。
 - 敷地の周辺環境に配慮すると共に環境負荷低減に配慮する。
 - 地域住民のニーズを想定したコンセプトルームを提案するものとする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - 防災用を兼ねて、受水槽(WxDxH=2x4x2)を設ける。
 - エレベーター等を適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1 階平面図兼配置図 1/200	① 1 階平面図兼配置図、2 階平面図及び 3 階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)
(2)2 階平面図 1/200	ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積 ト.待合広場・展望デッキスペース(面積を明示する。)
(3)3 階平面図 1/200	② 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口・公園への出入口 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.通路、植栽等
(3)断面図 1/200	③ 2 階平面図及び 3 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から 2 つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離、及び重複区間の距離 ④ 切断位置は、エントランスホール及び多目的室を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、基礎部分を除き、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1 階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上 1~3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及びその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

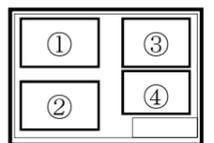
建築計画、構造計画、設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- 周辺環境に対して配慮した点
- 建築物の配置計画について配慮した点
- バリアフリー法円滑化誘導基準として視覚障害者のために配慮したこと
- 建築環境負荷低減をするために工夫した点(3 点とし、図示を必須とする)
- コンセプトルームの計画にあたり、設定した地域住民のニーズと対応した計画内容
- 建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割等を採用した理由及び主要な部材寸法
- 採用した空調方式及び採用した理由(エントランスホール・多目的室・厨房)
- 多目的室で採用した照明とその理由

4. 図面レイアウト(本試験では解答用紙 I に記載)

- ①配置図兼 1 階平面図 ②2 階平面図 ③3 階平面図

- ④断面図・面積表



5. 自己分析表:

■自己分析課題の位置づけ

この課題は、製図試験受験生の現時点での自己分析を行うためのものです。何時間かかってもよいので納得した解答案を作成してください。この課題については、原則エスキース、解答図面、要点、及び分析表を一式で提出するように心がけてください。特にエスキースは、他受講生が観ても内容がわかる程度にできるだけ描き出すようにしてください。3 月末までこの課題の内容については共有しつつ学んでいくベースとします。また東京・大阪以外での講習会についても 3 月末まではこの課題で講習会を行います。加えて、4 つのコースお申込者には、オンラインで解説も行います。

■添削について

受講生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。PDF での送付も受け付けます。切は 3 月末日消印有効。遅れても必ず添削しますが、ペース配分の目標としてください。添削は約 1 週間程度でご返却します。
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を 4 つ折りして角 2 号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。

試験場	受験番号	氏名
	□□□□□□□□□□	

製図試験.com プロセスチェックリスト 自己分析課題

ver.180105

STEP	目標時間	経過目標	チェックポイント	経過時間	自己評価	添削評価	備考
E0	年度条件	0	0				今回はなし
E1	I.設計条件	1	1				具体的なコンセプトのイメージング
E1	4.計画に当たっての留意事項	1	2				具体的な記述を確認
E1	3.計画の要点	1	3				図面に反映しそうな点を確認
E2	II.要求図書	1	4				いつもと違う記述があれば確認
E3	1.敷地及び周辺条件	2	6				建ぺい率、用途地域、基礎他
	アプローチ(仮)	2	8				M/Sのアプローチ(仮) 想定
	敷地の向き	3	11				◎×△の想定
E4	2.建築物	1	12				階数、目標床面積の設定
	積上図(1)	1	13				24コマもしくは1階最大と総3階建
E5	3.その他の施設	3	16				全外構の大きさ図示
E6	最大建築面積	4	20				外構が納められる広場含み最大面積 ←ここまで30分程度
E7	(3)要求室	3	23				全体俯瞰+適宜面積計算
	全室リスト	17	40				高さ・動線・部門含み面積計算
	廊下率	1	41				1.4~1.6+補正が必要かどうか
	部門廊下含み面積	2	43				グロス計算+ネット計算
	高さ情報	2	45				読み間違いないか ←ここまで55分程度
E8	動線図	5	50				思い込み・読み間違いないか確認
	積上図(2)	1	51				積上図(1)よりも解答に近づくこと
E9	ポイントアップ	2	53				不明・新出・判断迷う点
	プラン方針	2	55				ポイントアップから方向性方針決定 ←ここまで65分程度
E10	ゾーニング	10	65				部門ボリューム・建築物外形・面積概算
E11	コアゾーニング	5	70				コア位置・建築物外形・スケルトンイメージ
E12	コマプランニング	15	85				室忘れ・面積間違いないか ←ここまで95分程度
E13	問題文・エスキース最終確認	10	95				問題文とエスキースの最終確認 →最長2時間15分程度
E14	1/400エスキース	40	135				A4版1/400で一旦まとめる →最終はここを抜く
Y1	計画の要点	50	145				キーワード+網羅+文章化 5分/問程度+見直し
D0	重要記載事項・面積表	10	155				面積表は確定分だけでも描く 作図は3時間弱程度
D1	基準線・寸法	10	165				基準線及び寸法を固める
D2	平面図スケルトン	15	180				スケルトンの完成・上下階チェック
D3	平面図間仕切り下書き	35	215				エスキースを1/200にトレース エスキーストレースの完成
D4	平面図間仕切り仕上げ	45	260				縦線・横線を一気に描き入れ ←ここまで作図で105分程度
D5	断面図	20	280				平面図との整合性注意 ←断面図は20分程度
D6	外構文字入れ	40	320				最小限表現での完成をめざす 最小限表現完成5時間30分
D7	アピール	10	330				ひたすらチェック+加筆・修正
CHK	最終チェック	30	360				最終チェック+保険として30分 完成6時間目標とする。

経過時間は合計時間を、自己評価は○(できる) △(あまりできない) ×(わからない・やってない) を付けてください↑

自己分析欄

(注) 課題によって若干のステップ・目標時間の変更があります。

製図試験.com完成答案チェックリスト ID:Z30 hn :

NO	項目	A	A-	B+	B	B-	C	チェック内容
1	図面印象							読みやすさ、線の意味とメリハリ、描き込み(必要なことが過不足なく)、文字、答案としての丁寧さ、アピール
2	アプローチ							メイン・サブ、その他広場等アプローチ、歩車分離、敷地・建物への記号、ルート、表現
3	寸法・面積							寸法(数字の読みやすさ、寸法線、留め) 面積表(計算式、合計、建ぺい率、容積率)、面積上下限
4	外部空間							広場(面積、形状、配置)、敷地内通路、駐車場(台数、表記)、駐輪場(台数、表記)、外構、設備関連他
5	プラン印象							建築物外形、共用部形状及び豊かさ、基準階形状、平面上下階不一致、動線、ゾーニング、コア、スケルトン、環境配慮他アピール
6	吹抜・大空間							取り方、扱い方、表記
7	要求諸室							要求室面積、要求室形状、動線特記、造作特記、抜け他
8	法規							防火区画(縦穴区画、面積区画)、2方向避難(2階、3階)、採光、道路斜線
9	構造							ラーメン構造、柱陸立ち、スパン、カンチレバー、大空間(PC、B梁、柱)、特定天井、その他
10	断面図							表記(構造、基礎、室名、寸法、天井高さ、屋上、設備、パッシブ関連アピール)、平断不一致、切断位置
11	空調・PS関連							空調機械室、DS、空調用PS、受水槽室、PS、キュービクル、EPS 他
12	計画の要点							図面との整合性、日本語、建築計画、構造計画、設備計画、環境負荷低減、防災対策他
13	他・失格							室欠落、面積アウト、図面不一致、他

合格へのアドバイス ↑自己評価を書き入れてください! ランクとの関連A,A-=1,B+,B=2,B-=3,C=4